

予算編成の基本的な考え方

- 平成29年度当初予算は、恒常的に歳出が歳入水準を上回る硬直化した本県の財政構造が続いている中で、基金残高を上回る多額の財源不足が見込まれるなど、極めて厳しい財政状況での編成となりました。
- このため、本県の未来をしっかりと見据え、活力ある県づくりを進めるべく、まずは、それを支える持続可能な財政構造の確立に向け、中長期的な財政基盤の強化・立て直しに全力で取り組みました。
- また、本県の最重要課題である人口減少や直面する政策課題への対応についても、限られた財源を効果的に活用し、最終年度となるチャレンジプランの目標「突破」や地方創生の加速に取り組みました。

1 財政健全化に向けた行財政構造改革の推進

5年後を目途に、基金の取崩しに依存しない自立した財政構造を確立するため、新たに行財政改革統括本部を設置し、歳出構造改革や財源確保対策、また今後の変動要因も視野に更なる対策強化に取り組みます。

徹底した歳出構造改革の推進

本県の歳入水準に見合った歳出構造への転換に向けた、総人件費の縮減や公共投資等の適正化、事務事業の見直しなどの徹底した歳出構造改革の推進

臨時的・集中的な財源確保対策の実施

保有基金の取崩しや保有財産の効果的な活用、未利用財産の売却促進など、行財政構造改革の期間における臨時的・集中的な財源確保対策の実施

行財政改革統括本部（新設）による取組強化

新設する行財政改革統括本部における、社会保障費の増大や地方財政対策の動向など今後の変動要因も視野に入れた更なる対策の検討・具現化

2 チャレンジプランの目標「突破」と地方創生の加速

地方創生推進交付金等を最大限に活用しながら、施策重点化方針に沿った事業に予算を集中的に配分し、計画最終年度となるチャレンジプランの目標達成と総合戦略の着実な推進を図ります。

チャレンジプラン（H26～29）

- ▼産業活力創造戦略
- ▼安心・安全確保戦略
- ▼地域活力創造戦略
- ▼行財政基盤強化戦略
- ▼人材活力創造戦略

まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ▼「社会減の流れ」を断ち切る！
- ▼「少子化の流れ」を変える！
- ▼「住みよい地域社会」を創る！

H29施策重点化方針

- 1 若者に魅力ある雇用の場の創出
- 2 県内への定着・還流・移住の推進
- 3 結婚・出産・子育ての希望を叶える環境の整備
- 4 将来にわたって活力ある地域づくりの推進
- 5 県民生活の安心・安全の確保

地方創生推進交付金等を最大限活用

当初予算規模（一般会計）

6,809億円（対前年度比 Δ 217億円、 Δ 3.1%）